

文部省選定 自治省 消防庁推薦  
山火事防止映画 カラー アニメーション

# リスのまとい

映画「リスのまとい」企画にあたって

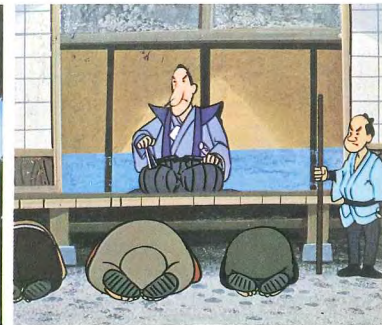
林野庁森林保険課長 野辺忠光

美しい緑の森を、アッというまに灰にしてしまうおそろしい山火事。わたくしたちの緑ゆたかな国土をまもるために、みんなが力をあわせて山火事をなくさなければなりません。“まとい”をもった可愛いリス君。ひょっとしたら、もうみ

なさんにもおなじみかもしれません。このリス君は山火事防止のシンボルなのです。この映画は、リス君がどうして“まとい”をもち、みなさんに山火事防止を呼びかけるようになったかを、昔ばなしふうにおもしろくえがいたものです。

企画 林・野・庁  
協力 (社)日本損害保険協会  
製作 全国農村映画協会





## あらすじ

心のやさしいこびきの孫べえさんが、山からのかえりにリスを助けました。春はマタギ（かりうど）の渋えもんにも書きいれどき。渋えもんは山の神さまから狩りのゆるしをもらっていて、けものたちにはこわい人です。

“あッ山火事だ” ある日リスは煙を見つけて逃げだしますが、火はみるみるヒノキやヒバの美しい林にひろがり、殿さまが大切にしていた山を焼きました。

殿さまはたいへんおこって、ちょうど山ではたらいっていた孫べえさんたちをとらえて、重い罰をいいわたしました。リスは恩人のさいなんにびっくりぎょうてん、代官に10日間

まってくるようたのみます。そして山火事の原因をしらべるために山を歩きますが、やけただれた山には友だちもいなければたべものもありません。とつぜん、うえたフクロウがおそってきました。ようやくのがれてキツネにいました。だまし上手のオコンギツネです。渋えもんはキツネにうらみをもってつけねらっています。大男で鉄砲の名人、マタギの渋えもんとおコンギツネの知恵くらべ……。リスは代官のところへかけつけます。そして――



製作	小野寺正寿	演出	石黒 昇
	柴山 達雄	作画	吉村 昌輝
脚本	小野 春夫	美術	下道 文治

